

平成 2 9 年 度
優れた教育活動表彰

1 学校（17校）

学校名	学校長氏名	表彰の理由
松江市立母衣小学校	安達卓生	・「母衣小スタイル（特別支援教育の視点からの指導）」の体育版や「体育虎の巻」の作成等により授業づくりの基盤を教員が共有できるようにするなど体育科の充実に向けた取組を積極的に行っている。
出雲市立四絡小学校	高野芳雄	・6年間のつながりを意識した学校保健年間指導計画の作成や、健康ファイルによる保護者と連携した生活習慣づくりの推進など、児童の健康教育に積極的に取り組んでいる。
出雲市立さくら小学校	橋本祐治	・体育科の授業づくり、日常での体づくり、環境づくりを3つの柱に「話している人の方を見て、しっかりと聴き、理解して行動できる体づくり」の取組を進めた結果、授業への集中力が向上し、学力の向上へとつながっている。
益田市立吉田南小学校	菊池貴宏	・進んでよく学習し、自らの力で立つ子どもの育成をめざし、特別活動の充実に継続的に取り組んでいる。 ・特に話し合い活動の充実を図ったことにより、児童の自己肯定感や自己有用感が高まり、また、学習意欲の向上に繋がっている。
江津市立郷田小学校	永瀬裕朗	・平成27年度から組織的に道徳科の研究に取り組み平成30年度からの全面実施に向け、いち早く道徳科への移行を行った。 ・研究授業を繰り返し「考え、議論する道徳」の実現を果たそうとしており、県教育研究大会で取り組みの一端を発表し、参加者からも高い評価を得ている。
雲南市立吉田小学校	坂田英則	・「小学校・中学校・高等学校を通じた英語教育強化地域拠点事業（文部科学省）」について県立三刀屋高等学校・雲南市立吉田中学校・吉田小学校・田井小学校で連携して取り組み、小学校3・4学年の外国語活動及び小学校5・6学年の外国語科の実施や、それに伴う中学校・高等学校における外国語教育の高度化を進めた。
雲南市立田井小学校	藤原政司	
雲南市立吉田中学校	勝部由紀夫	
島根県立三刀屋高等学校	佐藤睦也	
奥出雲町立高尾小学校	梶田勝造	・表現力や会話力、想像力の育成と、大勢の人前でも臆せず話すことができるように落語活動を取り入れた教育に力を入れてきた。 ・地域の方に喜びと力を与えており、小規模校におけるふるさと教育の実践として、また複式学級に在籍する子どもたちの表現力を高める実践としての取組となっている。

学校名	学校長氏名	表彰の理由
松江市立東出雲中学校	津田陽一	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育に関するカリキュラムを策定し授業で実践しているほか、キャリア教育フォーラムの開催により地域・企業・行政との連携を進め、また、社会体験活動の拡充を行うなど、同教育の推進に積極的に取り組んでいる。
大田市立志学中学校	武田寿博	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間を活用し、地域貢献の態度と具体的行動の実践力の育成をねらいとした学習活動を行っている。 ・長年にわたり志学地域でのフィールドワークを行ってきた結果、地域とのつながりが深まるなど、ふるさと教育・キャリア教育の推進に繋がる取組となっている。
雲南市立掛合中学校	原 智	<ul style="list-style-type: none"> ・掛合太鼓の保存継承・後継者育成を図るため昭和57年に「掛合太鼓ジュニア」を結成し、地域の祭りやイベント等で演奏を行ったり、日本太鼓ジュニアコンクールに県代表として県内最多の13回出場するなど活躍している。 ・現在の掛合太鼓保存会の打ち手のほとんどが「掛合太鼓ジュニア」の出身者であり、地域文化の継承及び活性化に貢献している。
島根県立情報科学高等学校	小山峰明	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度より全国初の取り組みである情報ITフェア及びブレ情報ITフェア（地域開放講座）を実施している。 ・地域のIT拠点としての役割を果たしているほか、生徒による小中学生等へのプログラミング指導や生徒自身のプログラミング言語Rubyの習得を進めることにより、県内におけるIT産業の人材の育成に貢献している。
島根県立島根中央高等学校	木原和典	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年1月に「石見銀山に関する継続した学習の取り組み」が認められ、山陰両県の高校で初のユネスコスクールに認定された。 ・近隣の小中学校と連携した石見銀山景観保全活動や地元の丸山城跡の保全活動では、地域環境保全への理解や地域への愛着が深まり、自己有用感が育成されるなど、多くの学びと成果のある活動を行っている。
島根県立益田養護学校	浅野博行	<ul style="list-style-type: none"> ・平成12年の開校当初より、学校行事に地域住民の参加を呼びかけるなど、地域との交流を積極的に行っている。 ・17年目を迎える「ボランティア養成講座」は、地域住民と児童生徒の関わりを得る場となっており、障がいの理解促進に貢献し、地域に開かれた学校づくりの実践としての取組となっている。
島根県立石見養護学校	原 宏	<ul style="list-style-type: none"> ・高等部が地元邑南町に提案した、積み木を作り乳幼児にプレゼントする事業案が採用され、町が推進する子育て支援施策に生徒も参画できるようになり、地域学校協働活動としての先駆的な取組となっている。

(注) 上記の掲載順は、小・中・高・特別支援学校、かつ建制順による。

2 団体（2団体）

団体名	代表者職・氏名	表彰の理由
<p>隠岐郡小中学校教育研究会 特別支援教育部会</p>	<p>海士町立 福井小学校 校長 吉田貴弘</p>	<p>・隠岐郡内の特別支援学級を有する学校の教員で構成され、合同宿泊学習や大運動会など児童生徒の交流事業に取り組んでいるほか、特別支援教育担当教員の資質向上を図るための研修会を開催するなど、隠岐郡内の特別支援教育の充実に向け、積極的に活動している。</p>
<p>おきの子ら編集委員会</p>	<p>隠岐の島町立 五箇中学校 校長 室山美恵子</p>	<p>・島後小中学校長会を事務局として島後内の教員により構成され、長年にわたり多くの児童生徒、保護者、地域住民に親しまれ読み継がれた、島後作文「おきの子ら」の編集発行を担い、次世代への文化の継承に貢献しているほか、作文・詩歌指導の充実に向けた研修にも取り組んでいる。</p>

（注）上記の掲載順は、団体の代表者の所属校の建制順による。

3 個人（13名）

氏名	所属・職	表彰の理由
あおき きよこ 青木 貴代子	出雲市立斐川西中学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の指導において卓越した指導力をもち、全日本合唱コンクールにおいては繰り返し、金賞や銀賞の受賞へ導いている。 ・指導の成果は、県の音楽教育や合唱に携わる指導者の活動意欲の向上にも寄与している。
あおやま えつこ 青山 悦子	松江市立島根中学校 事務リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から島根県公立小中学校事務職員研究会（島事研）の研究部長として、島事研ビジョン2015や研修プログラムの策定などを通じ、事務職員の研修制度の確立に尽力した。 ・平成26年度からは島事研副会長、平成28年度からは島事研会長を務め、後進の育成にも積極的に取り組んでいる。
いいつか りょうじ 飯塚 良治	雲南市立木次中学校 校長	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり学校図書館活用教育の研究・実践に取り組んでいる。 ・雲南市立佐世小学校校長時には、豊かな心や探求心のある子どもの育成に向け、同教育を学校運営の核に据えて教育活動の充実を図ったほか、全国学校図書館協議会研究大会ではパネリストとして取組状況を発表するなど、本県の学校図書館活用教育の推進に大いに貢献している。
いわた みどり 岩田 緑	松江市立宍道中学校 栄養教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・食育の推進において、特に朝食の指導に力を入れ朝食摂取率の向上や内容の充実に向け尽力した。 ・島根県小中学校栄養教諭研究会会長を務め、県内の栄養教諭の専門性の向上に力を注ぐとともに、後進の育成にも積極的に関わっている。
えだ しゅういち 江田 修一	島根県立大田高等学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・写真部顧問として高い撮影技術をもって生徒の指導にあたっており、昨年写真サミットではエプソン賞を受賞したほか、全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園2016）では優勝へと導いた。
おおや じゅんいち 大屋 純一	島根県立浜田商業高等学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング言語Rubyを授業に取り入れるなど、プログラミング教育を推進した。また、企業経営者等からなるコミュニティへ生徒を参加させ、就職につなげていく活動により成果を上げるなど、IT産業界の求める人材の育成に向け積極的に取り組んでいる。

氏名	所属・職	表彰の理由
おか 晶史 あきふみ	島根県立益田翔陽高等学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導教諭を7年間やり続け、生徒理解を柱とする指導体制を確立した。 ・保健相談部との連携を図るため生徒支援初動会議の設立に尽力するなど、いじめ・不登校等の早期発見・早期対応への取組も積極的に行っている。
かじおか 純子 じゅんこ	安来市立第一中学校 事務リーダー	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度から平成28年度の5年間、島根県公立小中学校事務職員研究会（島事研）の事務局長として、島事研ビジョン2015の策定や研究大会・事務セミナーの企画運営を行うなど、学校事務の改善や職員の資質能力向上に貢献した。
どなか 久美子 くみこ	隠岐の島町立西郷中学校 栄養教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・健康に配慮した食事のあり方など、学校給食を通じた食育指導に尽力したほか、学校給食を通じたふるさと教育の推進や地産地消の推進に貢献した。 ・生活習慣病予防を目指し、行政が行う一般住民の栄養改善事業にも協力している。
はしば 千晴 ちひろ	浜田市立弥栄中学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館活用教育の推進に向けた研究実践を行い、生徒の情報活用能力、思考力、判断力、表現力の育成に成果をあげた。 ・研究成果は、他校における教科横断的な教育実践や司書教諭と学校司書による授業支援の参考となっているほか、学校司書の資質向上の研修にも活かされている。
みよし 真希 まき	益田市立安田小学校 教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・合唱の指導に精力的に取り組んでおり、県代表として参加したNHK全国音楽コンクール中国ブロック大会において継続的に受賞に導いている。 ・県西部の中高生約80人で構成される「ネクスト・クワイア（次世代の合唱団）」を立ち上げるなど、地域の文化活動の発展にも貢献している。
もりした 和子 かずこ	浜田市立原井小学校 栄養教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防に継続して取り組み、地域の野菜を使った調理実習、児童による朝ごはんづくりの企画や親子で学ぶ食の授業の実施など、家庭や地域と連携した食育活動の推進に尽力した。
やまね 由利 ゆり	松江市立湖東中学校 養護教諭	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び教職員の心身の健康管理や保健指導に積極的に取り組み、学校保健の向上に尽力した。 ・島根県養護教育連絡協議会会長及び顧問を務め、後進の育成指導にも積極的に携わっている。

(注) 上記の掲載順は、五十音順による。